



## シリーズ『教頭業務の整理と改善に向けて』②

前号に続き、シリーズ『教頭業務の整理と改善に向けて』です。今回は、竜南中学校で実践されている取組をご紹介します。竜南中学校では、令和2年度よりエクセルオンラインを活用した出欠管理をされています。朝の生徒の状況把握がスムーズに行われ、時間に余裕が生まれていることから、先生方の働き方改革につながっています。

### エクセルオンラインによる出席状況管理

#### 朝（始業前）

- ・電話やメールにより連絡を受けた職員がその場で入力  
⇒連絡の方法や受けた場所によらずいつでもどこでも入力可能！
- ・担任は実際登校している生徒を確認しチェック（連絡状況と比較）  
⇒連絡状況を職員室等に確認しに行く必要がない！
- ・学年主任は、昇降口（靴箱）の靴を確認

#### 授業時間

- ・教科担当者が保健室で休んでいる生徒や早退した生徒など、その時間の出席状況を入力  
⇒担任が放課後等に確認できる！

### 【エクセルオンラインの特徴！】

- ・どこからでもパソコンやタブレット、スマホなどの端末から利用可能。
- ・複数人によるリアルタイムでの共同編集に対応しており、編集を行うたびに変更内容が自動で保存される。

※同時入力自動保存が大きな利点です!!

### 【入力画面の様子】 入力項目

- ・教室での確認（名前・チェック）
- ・家庭からの連絡（理由・誰から・対応者など）
- ・家庭への連絡（連絡時刻・対応者など）
- ・登校後の動き（早退時刻・対応者など）
- ・学校内の動き（保健室や別室等所在場所など）



※ システムデータはCネットキャビネットに格納しております！

## 竜南中学校の先生方へインタビュー



子どもの所在がすぐに確認できることが、一番の利点だと思います。全ての教職員がいつでもどこからでもシステムに入ることができ、学校全体で子どもの状況を把握することができます。また、朝から電話連絡等を受けて先生方の机にメモ用紙を置くという作業が全くなくなりました。

近藤 博史 教頭



コロナ禍で生徒の所在把握が煩雑であったことから、他校での実践を参考にして本校でも導入しました。また、実際に使用している先生方の意見を聞き、よりよいものになるようバージョンアップをしています。

システム制作者 竹財 大輝 教諭

是非、たくさんの学校で活用していただきたいと思っています。

## 教頭業務の整理と改善について

教頭業務の整理と改善は、教頭先生方だけの働き方改革では実現できません。

### 【学校改革！教職員の時間創造プログラム 教頭業務の整理と改善取組内容】

教職員全体の業務について明確化の中で、必ずしも教諭等が行う必要のないもの、基本的には学校以外が担うべき業務などを学校から切り離していきます。その上で特に教頭業務については、他の教職員でどのように分担できるか可能性を探りながら、教頭の実質的負担や負担感を減らす工夫をしていきます。

先に紹介している竜南中学校の事例（エクセルオンラインの活用）につきましても、1つの取組が、教職員全体の働き方改革につながっており、結果教頭先生にとっても業務改善になっています。今後も、様々な学校の実践事例をご紹介しますので、各学校で参考にさせていただきますようお願いします。

